

尾道市立吉和小学校  
学校経営全体構想図

吉和小・中学校コミュニティ・スクール  
～ 吉和PRIDEを醸成する教育活動計画の立案～

重点1 「吉和学」の創設

- 9年間を見通し、吉和を学び・体験する学習活動を開発する。
- 総合的な学習の時間カリキュラム再編成  
～吉和に出かけ、吉和と触れ合い、吉和を学ぶ～
- ◎ 地域と連携し、地域人材・素材を活用した教育活動を実施

重点2 「吉和しぐさ」の創造

- 9年間を見通し、児童・生徒の規範意識を高める「吉和しぐさ」を創造する。
- 吉和地域のために何が出来るかを考えたり、行動したりできる児童・生徒を育成する。
- ◎ 地域人材と触れ合う機会を意図的に設定し、地域で育つ体験活動を実施

吉和地域学校運営協議会との連携

吉和小学校スクールミッション

小中連携教育の充実による系統的で魅力ある教育の実現

学校教育目標

集中力がある児童の育成



方策1 チャレンジタイムの充実

- 週4日（火～金）朝15分間の徹底反復学習を実施する。 ※徹底反復学習…ます計算、音読
- 毎月、学級で目標値を設定し、評価する。

方策2 無言行動・無言掃除の徹底

- 教室移動の際、無言移動を徹底する。
- 掃除開始のチャイム後各自黙想し、めあてを設定する。その後、無言掃除を行う。

研究主題

全員が「分かった」「できた」と実感する算数科授業を目指して  
～ 授業のユニバーサルデザイン化を通して～



授業のユニバーサルデザインとは  
学力の優劣や発達障害の有無にかかわらず  
全員の子どもが、楽しく「わかる・できる」ように工夫・配慮された授業のデザイン

授業を焦点化（シンプルに）する

授業で共有化（シェア）する

授業を視覚化（ビジュアルに）する